

第57号

令和2年1月

発行 高知厚生病院
広報委員会

◆ 高知厚生病院グループの理念・基本方針 ◆

理 念

敬天愛人

基本方針

1. 地域の皆さまの尊厳を護り、心の通う医療と介護を実践します。
2. 自己研鑽に努め、自らと組織の発展向上を目指します。
3. 地域連携を進め、効率的に働きます。
4. 地球環境に留意し、災害に備えます。



年 頭 所 感

(2020年1月5日記)

院長 山口 龍彦



はじめに

あけましておめでとうございます。令和の時代になって初めてのお正月を迎え、お天気も雲ひとつない日本晴れの日が続きました。2020年、東京オリンピック、パラリンピックの年が、穏やかな、平和な一年であって欲しいと願っています。

当院が開院したのは前回の東京オリンピックが開催された1964年ですので56年前ですが、そのころは池田内閣の所得倍増計画に沿った、高度経済成長の真っ只中だったと思います。以来、当院は地域の皆様の健康生活の維持に奉仕するための病院として歩みを続けてきており、今年もまたその使命をしっかりと果たしてゆく覚悟です。

暗雲の中の国際情勢

日本の医療には世界でも類を見ない誇るべき健康保険制度があり、高度な医療を諸外国と比べて比較的安価に受けることができます。医療へのアクセスが良いため、日本人が長生きできるようになった面もあるでしょう。

それに加えて、食料が豊富にあって栄養状態がとても良くなったことや、各家庭に冷暖房が普及して、暑さ寒さによる体のストレスが軽減されたこともあると思います。これらにより、毎年、平均寿命は伸び続けており、男女とも世界最高に近い記録を達成し続けています。

この30年間の経済停滞を経てもなお国民総生産（GDP）は世界第3位だそうで、その豊かさがあるからこそ食料を輸入でき（カロリー計算で食料の6割が輸入による）、石油や天然ガスを輸入できるために（電力の84%が輸入化石燃料）、平均寿命が伸びていることを忘れてはならないと思います。

ただ、令和2年の始まりから国際情勢は緊迫してきており、これまで通りの豊かで平和な日本を維持、発展させるには相当な努力が必要のようです。

中東情勢

中東でまた戦争が始まろうとしています。新年早々、米軍がイランの特殊部隊の総司令官カシム・スレイマニ将軍を殺害しました。彼は以前より米軍の「テロリスト」のリストに名前を載せられていましたが、イランでは英雄であり、未来の大統領候補でもあった人だそうですので、イランもこのまま黙ってはいないでしょう。どれくらいの規模かはわかりませんが、イランと米軍の交戦が始まりそうです。

そのため、早くも原油の価格が急上昇しているとのこと。このことについて私たちにできることは石油ショックが起こらないことを祈ることぐらいでしょうか。

近日、スウェーデンのグレダさんが高校を休み、日本に来て「化石燃料を使うな」と叫ぶそうですが、そう叫ばれたとしても、理性ある大人は石油や天然ガスを使わなければ、新幹線も電車も止まり、全ての産業が機能しなくなることを忘れてはならないと思います。家庭や職場の冷暖房も使えなくなり、体調を崩す人が続出します。

原子力発電は二酸化炭素の排出もなく、たとえ石油が止まっても大きな電力が産み出せるものですから、安全には最大限注意しながら使うべきだと思います。

アジア情勢

①北朝鮮 昨年末、12月31日に北朝鮮が核やミサイル開発を続けていることを暗に表明しました。近いうちに再び核ミサイルの実験を行うのではないのでしょうか。日本にも核シェルターが必要な時代が来るかもしれません。自分の国は自分で守る。日本の国は日本が守る！当たり前のことをしていないと、アメリカが守ってくれない時どうするのでしょうか。

②中国 中国のバブル経済が崩壊する日が近いと噂されています。もしそうなれば、リーマンショックの時の数倍の影響力で、世界中に大きな不況が来ることが予想されています。もちろん日本も例外ではありません。中国との関係が大きな企業ほど大変です。

また、中国は民衆の関心を外に向けるために、尖閣や沖縄に侵攻してくる可能性も大きくなります。国賓待遇は止めるべきです。

トランプノミクス

世界情勢から見ると、日本人の生活にとっても、私たちの医療や介護にとっても厳しい一年となりそうです。さらに、日本国内では消費税増税により百貨店もコンビニも売り上げ減少で、縮小しつつあります。税収の増加を期待していた目論見が外れて、国の税収は落ち込むことになるようです。中国発の不況津波が押し寄せなくてもアベノミクスは破綻しています。医療や介護に回ってくるお金は更に少なくなるでしょう。これが私は一番困ります。

日本と違い、アメリカは経済が絶好調です。これはトランプ減税と規制緩和によって経済が活性化しているためです。あらゆる階層のアメリカ人皆が3%以上の経済成長の恩恵に浴しており、トランプの再選は間違いなさそうです。経済が活性化するために国の税収も逆に増加しており、トランプ再選の暁には、さらなる大減税を予定しているそうです。

トランプノミクスという本が出版されています。トランプの経済政策を立案し実施している人が書いた本です。日本もアベノミクスを捨て、トランプノミクスを採用して欲しいです。国の経済が豊かになれば、医療や介護にも豊かさが巡ってくることになるからです。

おわりに

日本は人口の高齢化によって衰退するだけではないと思います。厳しい時代はまた、希望の芽生える時代だとも思います。明治維新を成し遂げ、太平洋戦争でアジアから植民地支配を一掃した日本人がこのまま衰退して良いわけがありません。

若者よ。立ち上がれ。ジャパニアズナンバーワンを経験した昔の若者も立ち上がろう。



『ホスピス医のつぶやき②』

緩和ケア科部長 小栗 啓義

▶「三方一両損」聞いたことがある人も多いと思う。江戸時代の大岡（大岡越前・忠相）政談もののひとつで古典落語の演目である。

▶江戸っ子の左官、金太郎が三両の金が入った財布を拾い、落とし主、大工の吉五郎に返そうとするが、頑として受け取ろうとしない。互いに譲らず、奉行所に持ち込まれる。どちらの言い分にも一理あると認めた越前は自らの一両を加えて4両とし、2両ずつを双方に分け与える裁断を下す。三者が一両ずつ損した形だが、場は収まり、ご馳走を食べながら、皆が満足する、という落ちである。

▶近年、世界政治でも、ある国の大統領をはじめ、「自国（自分）が絶対大事。」「自分が絶対正しい。」といった、他者への思いやりに欠ける言動が近年目立つように思われてならない。

▶ホスピスで普段、がん末期の患者さんを診察していると、患者さんの中には「最期まで絶対、自宅で。」という患者さんや、「介護は絶対無理。」という患者さんの家族に、に出逢うことがある。また、お医者さんの中にも、患者さんに「自宅では絶対無理。」と言われる医師がいます。

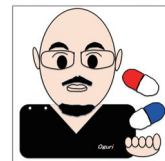
▶人の思いというのは、すぐには変えられるものではないようです。でも、一人が我を張り通すと、誰も幸せにはならないように思います。誰かが幸せになる時は、皆が幸せになる時だと思えます。

▶ホスピスの診察室では、「まあ、そう決めつけずに、まずは一緒にやってみましょう。」「やってみて、出来るなら続けましょう。ダメなら少し何かを我慢しましょう。」と、お話します。

▶世界政治にも、診察室にも通じるのかも知れません。「絶対という言葉を外してみると、以外と気持ちが楽になりますよ。」「少しでも、譲ってみませんか？みんなが幸せになるかも知れませんよ。」と。

▶「患者さん」「家族」「医療者」三方が幸せになるコツ。互いを認め合い、譲り合うことで最大公約数の幸福が得られるのではないのでしょうか。

*参考文献 「三方一両損」：フリー百科事典『ウィキペディア（Wikipedia）』



院内研修

医療関連感染対策研修参加

介護老人保健施設こうせい 介護主任 土門 早霧

11月23日に行われた高知市エリア医療関連感染対策研修に参加してきました。

・正しい手指消毒 ・感染対策の基本の手洗い ・手袋・マスク・エプロン～个人防护服の着脱
・ノロウイルス ・インフルエンザについて～感染を広げないために

5つの項目について、グループ単位での講義や実技、他施設との意見交換などが行われ、分かりやすく、充実した研修内容でした。冬季に流行するウイルス性感染症と言えば、インフルエンザやノロウイルスです。これらの感染症は、この時期、どこの病院や施設で起こってもおかしくありません。

ただ、高齢者が感染すると重症化する怖れがあります。

感染症の予防対策としては、手洗い・手指消毒・手袋・マスク・エプロン等様々ありますが、中でも日々の生活の中でできる、有効な感染対策は手洗いです。

最近では、擦式手指消毒剤の使用が短時間で効率がよく、さらに手指表面の除菌効果が優れているため、適切な場面で正しく使用することを勧められています。

入所者と関わることの一番多い介護職として、不十分な知識は知らず知らずの内に感染症拡大の原因となりかねません。

今回の研修では、自分の今までの手洗い方法の不十分さや手指消毒剤の効果的な使用方法の理解不足を実感し、またノロウイルスの嘔吐物の処理方法など具体的な対応策を再確認できました。

また、今回の研修で学んだことは、施設内でも伝達講習を行いました。

手洗いや手指消毒等の予防策は自分一人だけではなく、皆がきちんとしなければ意味がありません。一人一人の気持ち次第で大幅に防げることがあります。感染源を持ち込まないことを意識し、例え感染者が出ても、感染拡大が最小限に留まるよう、職員間で感染症の正しい知識を共有して、まずは予防に努めていきたいと思えます。

院内行事

クリスマス会

介護老人保健施設こうせい 介護主任 西川 豊和

令和1年12月11日に介護老人保健施設こうせいの多目的ホールにて毎年恒例のクリスマス会を開催しました。利用者の方々とクリスマスソングの合唱やキャンドルサービス、サンタからの贈り物と楽しいひと時を過ごしました。中でも、今年から初の試み『二人羽織』では「もうちょっと右!」「そう、そこそこ!」と利用者さんの声もかかり、おおいに盛り上がりしました。



クリスマス会 (12月24日)

緩和ケア病棟 看護師 鞍懸 佐紀

緩和ケア病棟にてクリスマス会を開催し、たくさんの患者様に来ていただきました。松ぼっくりで作ったミニクリスマスツリーを飾りつけや、たこ焼やデザート、医師・看護師でのハンドベルの演奏等、積極的に参加してくださり、「楽しかった」「ありがとう」と笑顔がみられました。院長サンタクロースからのクリスマスプレゼントも、喜んでいただくことができました。患者様の楽しめる姿が見られて、我々スタッフもとても嬉しかったです。



引き続き、患者様・ご家族も一緒に楽しんでいただけるような行事を企画してきたいと思います。



令和2年2月1日より高知市地域包括支援センターに変わります。

高知市東部地域高齢者支援センターしんぼり出張所 所長 三田 良江

当院では高知市より委託を受け平成26年9月1日から高知市東部地域高齢者支援センターしんぼり出張所として、下知、北街、南街地区のエリアでの対応を行ってきましたが令和2年2月1日からは新たに「高知市下知・五台山・高須地域包括支援センター」として稼働します。

当センターでは、住みなれた地域で自分らしく生活していけるように高齢者の状況把握や支援、権利擁護に関する取り組みや、ケアマネージャーや多職種との連携により個別支援を行うと共に地域住人や近隣関係機関、民生委員、NPO法人やボランティアの連携を図りながら地域における社会資源の充実も目指していきます。引き続き宜しくお願い申し上げます。



当院は
平成15年9月22日より
日本医療機能評価機構
認定病院となっております。



◆ 特定非営利法人
日本緩和医療学会
より認定研修
施設として認定
されました



◆ 厚生労働省より
医師の卒後臨床
研修施設として
認定を受けまし
た



明けましておめでとうございます。
娘が成人式で準備に抜かりがないか母としてもドキドキです。一步一步、経験を積んで人としての成長していくのだなと、つくづく思います。みんなで力を合わせて今年も広報誌の発行をしていきます。どうぞよろしくお願いいたします。(A・I)



高知厚生病院

〒781-8121 高知市葛島1丁目9-50 Tel.088-882-6205 Fax.088-883-1655
ホームページ <http://www.kochi-koseihp.jp>

- 介護老人保健施設こうせい ■ 通所リハビリテーションこうせい
Tel.088-882-6205
- 訪問看護ステーションこうせい ■ 高知厚生病院健診センター
Tel・Fax.088-885-6714
- 居宅介護支援事業所こうせい
Tel・Fax.088-885-5779

医療法人 山口会

こうせい

〒781-8121 高知市葛島2丁目5-12 Tel.088-802-5530 Fax.088-802-5531

- 看護小規模多機能型居宅介護こうせい ■ グループホームこうせい